

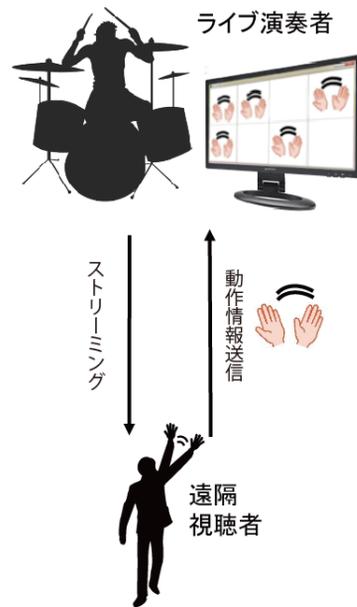


研究キーワード: グループウェア, ヒューマンインタフェース

最近の研究課題

1. 遠隔音楽ライブに関する研究

当研究室では、複数の人が協調して活動するときに役立つシステムについて研究しています。一例として、音楽をインターネットでライブ中継する際に遠隔視聴者が演奏者に対して反応を返すための支援システムを研究開発しています。ポピュラー音楽のライブでは観客が手を振ったりして演奏中に反応をしますが、それがライブに参加する一つの価値と考えられます。遠隔視聴者にも同じような機会を提供するための入出力インターフェースの開発とその評価を継続的に行っています。研究の主眼は、技術開発よりもむしろ、ユーザが実際には何を求めているのかの探求とそれを実現した場合のユーザの評価について知ることにあります。



2. 遠隔将棋支援に関する研究

将棋ばかりでなく、囲碁においても人工知能が人類に勝利する時代になりました。しかし人間同士でゲームを楽しむための研究も必要です。我々は、インターネットを使って遠隔で将棋を指す人達を支援するため、データベースの整備や感想戦支援などの研究を行っています。特に感想戦(指した将棋を事後に振り返って行う議論)は遠隔で行うための支援がこれまで十分でなく、新たな手法を開発していく必要があります。人工知能については、我々は開発していませんが、適宜利用して人間のために活用していく方針です。



高校生の皆さんへ

上記の研究は一例にすぎません。高校生のみなさんが入学して当研究室に入るところには違う研究をしているかもしれません。一貫したテーマは人間同士の活動を情報通信技術を活用して支援していくことです。特にエンタテインメント、文化、芸術などを対象とした支援は大学で取り組んで行く価値のあるテーマと考えています。興味があれば入学前でも気軽にご連絡下さい。

連絡先: tarumi <@> eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]